

第4学年 国語科学習指導案

時間・場所 1校時 4年3組教室

学 級 4年3組29名(男子14名,女子15名)

指 導 者 桐 山 ひかり

- 1 単元名 心に残ったことを感想文に書こう
学習材名 プラタナスの木(光村図書 4年下)

2 単元について

児童はこれまでに、文学的文章の学習を通して、登場人物の行動や会話に着目しながら人柄や気持ちを読むことや、題名や特別な言葉を意識しながら読むこと、そして、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の気持ちの変化を想像して読む学習をしてきた。その中で、登場人物の人柄や気持ちの変化を読み取り、自分の感想をもつことができるようになってきた。しかし、自分の考えの基となった叙述を見付けたり、自分の考えの根拠を説明したりする力は不十分である。

学習材「プラタナスの木」は、マーちゃんを中心とする四人組が、いつもの遊び場であるプラタナス公園で、おじいさんとの出会いやプラタナスの木がなくなってしまう出来事を通して、自然に対する思いや考え方が変化するという内容である。登場人物が児童と同じ4年生であることから、登場人物の会話や行動などに対して様々な感想をもつことができる作品である。

本単元では、物語を読んだ感想を交流し、一人一人の感じ方の違いに気付く力を身に付けるために、感想文を書いて交流する言語活動を位置付ける。その感想を深めるために、読みの意欲を高める課題を位置付け、その根拠となる叙述を見付けたり、自分の経験と比べたりしながら読むことができるようにする。さらに、友だちとの考えの交流を通して、読みを深め、お互いの考えや感じ方のよさに気付かせていきたい。

3 単元の目標

○自分と比べながら物語を読んだり、強く心に残ったことや考えたことを交流したりしようとする。

【国語への関心・意欲・態度】

◎読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気付くことができる。

【読むこと オ】

○情景を表す言葉や表現を見付けることができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)イ(ア)】

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○自分と比べながら物語を読んだり、強く心に残ったことや考えたことを進んで交流したりしている。	◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景について、叙述を基に想像して読み、感想を交流して一人一人の感じ方の違いに気付いている。	○情景を表す言葉や表現を見付けている。

5 学習計画(全9時間)

第一次 単元の学習について、学習計画を立て、課題意識と見通しをもつ。(2時間)

第二次 「プラタナスの木」を登場人物の気持ちの変化や情景などについて、自分の体験と比較しながら読む。(4時間) 本時3/4

第三次 心に残ったことを感想文にまとめて交流し、単元の学習を振り返る。(3時間)

6 本時の指導（5/9）

（1）ねらい

マーちゃんたちとおじいさんは、また会えるかどうかについて、登場人物の会話や行動、情景などの叙述を基に、考えることができる。

（2）展開

学 習 活 動	学 習 内 容	指導のための工夫 □評価〈方法〉
<p>㊦1 前時を想起する。</p>	<p>【マーちゃんの思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラタナス公園への思いが強くなっている。 <p>【おじいさんの存在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の大切さを伝えてくれた人 ・不思議な人 ・木の精 	<p>□U 前時までの学習が振り返られるように、壁面に学習したことを掲示しておく。（視覚化）</p>
<p>「マーちゃんたちとおじいさんは、また会えるかどうか」について考えよう。</p>		
<p>3 課題を解決するための見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の会話や行動、情景、出来事の叙述から ・自分の体験と比べて 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文にサイドラインを引いたり、書き込みをしたりしながら、根拠を明確にできるようにする。
<p>㊦4 課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもつ。 	<p>○立場とその根拠</p> <p>【会える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の大切さを伝えに来たおじいさんは、また木の話をして来てくれそうだから。 ・春になって芽が出てきたらまた会えるという強い思いをもっているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「会える」「会えない」といった結果にこだわるのではなく、本文のどの叙述を基にして考えたのかを大切にすること。
<p>㊦5 自分の考えを交流する。</p> <p>（1）グループでの交流</p> <p>（2）学級全体での交流</p>	<p>【会えない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーちゃんたちが木の大切さに気付き、もうおじいさんの役割は終わったから。 <p>○交流の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由が似ている・違う ・友達の体験への共感 ・自分の感想に取り入れたいこと 	<p>□U 同じ立場でも、一人一人の根拠となる叙述が異なることに気付けるように、同じ立場同士でグループを構成する。（共有化）</p>
<p>6 まとめ</p>	<p>おじいさんの言葉やプラタナスの木への思いから、「また会える（もう会えない）」だろう。</p>	
<p>㊦7 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○振り返りの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことよさ ・友達と交流することよさ ・自分の学びのよさ・高まり 	<p>□U 黒板の板書を基に、本時の学習を確かめ、振り返りにつなげる。（共有化）</p>

読 マーちゃんたちとおじいさんは、また会えるかどうか、登場人物の会話や行動、情景などの叙述を基に、考えることができる。
 <ノートの記述・発言>